## 職務経歴書

2023 年 11 月 15 日現在氏名:ワーク太郎

### ■職務経歴概要

20XX 年 4 月に株式会社 AAAAAAA へ入社し、R&D 本部 基盤開発部 コアテクノロジー課や、事業開発本部 新事業企画開発部 次世代技術室などに在籍し、主に研究開発、新事業企画・開発業務を経験しました。その後、学校法人 BBBBBB へ入職し、常勤教員、IT・Web 学科長、教務課長として勤務しております。業務内容は、授業をはじめとする教務全般、学生の募集業務、就職活動のサポートなど、多岐にわたります。

#### ■得意とする経験・分野・スキル

- ·研究開発、新事業企画·開発業務
- ・ネットワーク構築・サーバ構築
- · 教育業務全般

### ■会社履歴

期間	会社名
20XX 年 XX 月~現在	学校法人 BBBBBBB
20XX 年 XX 月~20XX 年 XX 月	株式会社 AAAAAAA

# ■職務経歴詳細

# 学校法人 BBBBBBB 20XX 年 XX 月~現在

事業内容:IT 系専門学校教育

従業員数:●名 資本金:●万円

期間	業務内容	知識・スキル
20XX年XX月	生徒に向けた授業を担当	☑プログラミング言語
~		(Python/PHP)
現在	【業務内容】	☑ IoT (RaspberryPi 、micro:bit)
	・担当した主な科目は、基本情報技術者対策、IT パスポート対策、	⊠ AI
	C 言語、Java 基礎、Java 応用、HTML、CSS、JavaScript、卒業制作、	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
	キャリアデザイン	際業務」のビザ申請手続き
	M 100 111 1 114 14 15 144 744	
	□ IT·Web 学科長業務	
	IT・Web 学科統括、カリキュラム検討、各種イベント計画・運営	
	   ☑教務課長業務	
	ー   シラバス管理、時間割制作、定期試験管理、非常勤教員管理、授業	
	変更対応、公開資料作成	
	【担当業務】	
	・2 クラスを担任	
	学生の学習・生活・体調面の状況把握と対応、留学生・職業訓練生・	
	一般学生に対応	
	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
	凶寿朱未切   面接、体験授業、学校訪問、出張プログラミング授業	
	四以、 戸水以木、丁以即円、田水/ 1/ / 、 / 八大	
	│ 図就職活動のサポート	
	履歴書の確認、面接練習、企業開拓	

## 株式会社 AAAAAAA 20XX 年 XX 月~20XX 年 XX 月

事業内容:IT マネジメントサービス、コンサルティング、IT インフラ・システム構築、クラウド構築

従業員数: ●名 資本金: ●万円

期間	業務内容	知識・スキル
20XX年XX月	次世代 NI 研究開発	・システム開発
~		(C 言語/C#/.net framework
20XX年XX月	【業務内容】	/HTML/CSS/JavaScript/
	図 MISCO 三井情報システム協議会のコーディネーター	LISP/CGI)
	図役員指導のもと中期経営計画の社長提案	
	⊠製品版 RADIUS	・データベース
	・バージョンアップ、カスタマイズ、サポート	(MySQL/PostgreSQL)
	図 IC カード認証サーバの新規受託開発	
	⊠ネットワーク構築・サーバ構築	⊠ネットワーク
		(UDP プロトコル/ルータ/ス
		イッチ/Cisco/自立分散協調シ
		ステム)
		・サーバ
		(Linux/Windows Server/
		Apache/IIS / Active Directory
		/ DHCP /
		RSAAuthentication Manager /
		VMware ESXi)

## ■PC スキル/テクニカルスキル

- ・初級システムアドミニストレータ試験
- XML MASTER Basic V2
- · ORACLE MASTER Bronze Database 10g
- ・C言語プログラミング能力認定試験2級
- Oracle Certified Professional, Java SE 6 Programmer
- · 基本情報技術者試験
- · Cisco Certified Network Associate

### ■自己 PR

#### 業務効率化

多くの業務を同時並行で効率良く進めることができます。現在はIT 系の専門学校で、学科長、教務課長、2 クラスの担任としてそれぞれの業務があり、勤務時間の約半分は授業をしています。そのため、授業以外の業務にあてる時間をどのようにして確保するか、仕事の質を担保した上でいかに効率化を図るかを常に意識しながら日々の業務を遂行し、学科を運営しています。